

スタッフ紹介 小児科

た ち も と ひろし
田知本 寛

趣味 テニス

好きな言葉 体力・気力・努力



患者さんへの一言

花粉症、見つけたら早くなおそう！

ご ち ょ う の り こ
後町 法子

趣味 音楽鑑賞

好きな言葉 質実剛健



患者さんへの一言

アレルギーは身近な疾患です。お気軽にご相談ください。

耳鼻咽喉・頭頸部外科

お お ま え さち こ
大前 祥子

趣味 ミュージカル鑑賞・読書

好きな言葉 心で見なければよく見えない、大切なことは目に見えない



患者さんへの一言

丁寧にお話を聞き説明をする診療を心がけています。

こ だ ま ひろ き
児玉 浩希

趣味 サッカー、音楽

好きな言葉 真実一路



患者さんへの一言

患者さん一人ひとりに合わせた治療を提案し、方針決定のサポートをします。



大根餅

〈材料 4人分〉

大根の皮.....	200 g	片栗粉	40g
万能ネギ.....	20 g	塩こしょう.....	少々
桜エビ	8 g	胡麻油	15g
薄力粉	40g	*つけだれ：醤油、酢	お好みで

〈下準備〉

- 材料は全て計量しておく。
- 大根は流水でよく洗い皮は厚めにむき、千切りにする。
- 万能ネギは小口切りにする。

〈作り方〉

- ①ボウルに材料を全て入れ、塩こしょうをふり、薄力粉と片栗粉を混ぜ合わせる。
- ②フライパンに胡麻油、生地を入れ、両面をこんがり焼く。
- ③人数分に切り分けてお皿に盛り付ける。



普段は使用しない大根の皮を使用して出来る大根餅です。大根の皮には豊富な食物繊維、またビタミンC、葉酸、カルシウムが多く含まれています。具材も、海老の代わりにベーコンなどを使用してもお子様でも食べやすいおやつにもなります。混ぜて焼くだけの簡単調理なので是非作ってみてください。



調理師 細田暁彦



すこやか

No. 72
2023

インフォメーション

慈恵大学病院だより



特集

花粉症にお悩みではないですか？

スタッフ紹介

花粉症治療関係

小児科／耳鼻咽喉・頭頸部外科

慈恵レシピ

大根餅



小児科における花粉症診療

田知本 寛、後町 法子

花粉症はスギ・ヒノキ（春）やカモガヤ・ブタクサ（秋）などの花粉によるアレルギーです。東京都の調査では0～14歳のスギ花粉症の患者さんはこの40年で2.4%から40.3%へと上昇しており、発症の低年齢化が進んでいます。

代表的な症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・痒みです。また皮膚が痒くなったり、喘息症状が出るお子さんもいます。子供の花粉症の特徴として、大人よりも鼻づまりが多く、また鼻水も透明のものからどろっとすることもあります。鼻がつまって口で呼吸をする、鼻水が垂れていなくても鼻を吸るなどの動作が増えた時も注意が必要です。目の痒みを伴うことも多く、擦っているうちに目の周りの湿疹や目やにが増えてくることもあります。これらの症状は夜間の睡眠の質を落とし、日中に眠くなったり、集中力が落ちたりすることもあるので、疑わしい場合には医療機関を受診してみてください。

では子供の花粉症の治療にはどのようなものがあるのでしょうか、簡単にご紹介します。



●花粉を避ける

意外と大変ですが、これをやる・やらないで随分違います。出かける時にはマスクや眼鏡を使用し、花粉が付かないようにしましょう。花粉が多い時期には洗濯物を外に干さないようにする、換気を早朝や深夜の時間にする、帰宅後には玄関先で花粉を落とすなどの注意が必要です。また帰ってきたらすぐに顔を洗い、花粉を落とすのも有効です。

●薬剤治療

- ①内服薬：抗ヒスタミン薬が中心ですが、眠気の少ない薬剤が選択されます。
- ②点鼻薬：鼻に噴霧するステロイド薬が主に使用されます。鼻に直接薬を入れるので、全身への作用はほとんど気にしなくてよい薬です。投与方法にはコツがありますので、医師や薬剤師から指導を受けてください。
- ③生物学的製剤：12歳以上で点鼻のステロイド薬と抗ヒスタミン薬を併用しても症状が重症である花粉症患者さんに限られます。

●舌下免疫療法

5歳以上のお子さんで適応があります。数年は続けないと効果が期待できないなど、いくつかの制約はありますが、効果や満足度に関しては70%以上とかなり高く、治療中止後も効果がある程度続くことが期待できます。

当科の特色

当科のアレルギー専門医の外来は月曜日から金曜日までほぼ毎日カバーされております。また耳鼻咽喉・頭頸部外科や眼科など他科との連携も行っており、専門性の高い疾患の対応に当たっております。

当院を受診される場合は紹介状が必要となりますが、当院は広くかかりつけ医との連携も行っております。花粉症を疑ったらかかりつけ医にご相談いただき、当科への受診についてご相談いただくことをお勧めします。



小児科待合室

●花粉症とは

原因となる花粉を吸い込んだことによって引き起こされる季節性アレルギー性鼻炎・アレルギー性結膜炎のことです。春先のスギやヒノキ花粉だけでなく、2～6月に飛散するカバノキ科、6～7月に飛散するイネ科、8～10月に飛散するブタクサなど、春の花粉以外でも症状に悩まれている方もいます。

また、花粉症の一部の方は、花粉に対するアレルギー反応が食物に対してもでてしまう（交差反応）、花粉・食物アレルギー症候群（PFAS）をお持ちの方もいます。このような症状がある方もアレルギー外来の担当医師にご相談いただければと思います。

●耳鼻咽喉・頭頸部外科での診療

当科では、花粉症をはじめとした免疫アレルギー疾患に対する専門外来を、水曜日（午前：アレルギー再診外来、午後：アレルギー初診外来）に行っております。アレルギー初診外来では、詳細な問診を行った上で、診

断のために必要な検査として、鼻内の診察、鼻汁検査、皮膚テスト、鼻誘発テスト、血液検査、画像検査などを行います。問診とこれらの検査の結果を総合して判断することで、アレルギーの原因物質（アレルゲン）を見つけることに努めます。

花粉症の治療は、アレルゲンの吸入阻止のための対策指導、お薬での治療、根治的な治療である皮下注射や舌下投与によるアレルゲン免疫療法、重症花粉症に対するIgE抗体療法を行っています。特に当院でのアレルゲン免疫療法の歴史は長く、スギ花粉症に対する舌下免疫療法だけではなく、原因となるアレルゲンの皮下注射を繰り返す皮下免疫療法の実施が可能です。アレルギー性鼻炎の唯一の根治治療ですので、しっかりと花粉症を治療したい患者さんとはご相談ください。

お近くの医療機関より紹介状をお持ち頂いて月曜日～土曜日の午前の耳鼻咽喉・頭頸部外科一般外来を受診の上、アレルギー外来をご予約ください。



正常な鼻内



アレルギー治療医薬品



アレルギー性鼻炎患者

